



シブ武者 金丸幸龍さん (熊本市)



オン武者 (準グランプリ) 田中 真さん (熊本市)



特別賞 橋口直仁さん (熊本市)



グランプリ 米満将太さん (熊本市)



うぶ武者 松岡 舜さん (吉富)



12

1. 講演する岩下さん 2.13. 花房小6年生の発表 3. 市内女子高生も司会などのスタッフとして活躍 4. 活動報告する高宗さん 5. オープニングでは国重要無形民俗文化財「菊池の松囃子」を披露 6.13. 近隣3市町長も出席。最後は翁姿で紙吹雪を投げた 7. 生垣屋の活動報告 8. 手作り折り紙と笑顔で来場者をおもてなし 9. 蒲島都夫県知事もお祝いに駆け付けた 10. フォトコンテスト表彰式 11. 4日に菊池公園であった植樹会 14. 菊池北小児童が制作した桜の貼り絵



13



PHOTO REPORT 2

菊池一族武者まつり2014

第5回

# ザイケ武者コンテスト

The IKEMUSHA CONTEST



最後の「告白。イケ武者の真剣な表情に田代さんがたじろじになる一幕もあり、会場は盛り上がりを見せました。グランプリに輝いたのは、敗者復活戦から勝ち上がった米満将太さん。自らを菊池一族の末裔と語り、PRタイムには三連太鼓を打ち鳴らして審査員と観客のハートをわしづかみにしました。「グランプリはご先祖様のおかげ。これから1年間PR大使としてお手伝いしていきます！」

千年のときを越え蘇ったイケ武者たち  
鎧甲冑を身にまとい、菊池一族に扮して男らしさを競う第5回ザイケ武者コンテストが3月30日、菊池市民広場で開催されました。応募総数80人の中から決勝戦に駒を進めたのは12人のイケ武者たち。バット折り、瓦割り、演舞、楽器の演奏など、バラエティに富んだ特技の応酬で火花を散らしました。



PHOTO REPORT 1

日本一の桜の里を目指して

# 第33回全国さくらシンポジウム



桜の名所づくりに取り組む自治体や民間団体が活動を報告する「第33回国さくらシンポジウムin菊池」が4月3日・4日の2日間、市内で開催されました。シンポジウムは昭和52年にスタートし、九州では平成18年の大分県別府市以来8年ぶりの開催で県内初。初日は菊池市文化会館であり、全国から桜の愛好家など約800人が参加しました。  
オープニングでは盛会を祈念して国重要無形民俗文化財「菊池の松囃子」を披露。記念講演では、本市出身の作家岩下尚史さんが「桜の信仰と文芸」と題し「桜も文化も残していくためには住民の思いが必要」などと講演しました。活動報告では、菊池さくら基金運営委員会の高宗政禎さんが基金設立の経緯や活動内容を報告。樹木医の今村順次さん・能子さん親子は、寺小野区にある「墨染桜」の歴史などを説明し、花房小6年生が桜にまつわる民話を紙芝居で披露しました。  
フィナーレは全員でチャリティーソング「花は咲く」を合唱し、会場が一つに。4日は菊池公園で桜の植樹、名所の見学会があり、多くの参加者が菊池の自然を満喫していました。

菊池に咲いた満開の桜



# 防災力強化に向け新体制スタート 消防団長に荒木新勝さんが就任

菊池市消防団は4月1日から新体制となりました。今後は荒木新団長の下、「新消防団として災害に勝つ」を合言葉に「市民の生命、身体、財産をあらゆる災害から守り自らの地域は自らで守る」を使命に力を尽くしていきます。  
問い合わせ先 防災交通課 ☎0968(25)7203

## 菊池消防団入団式を開催

菊池市消防団の入団式は4月13日、菊池市総合体育館で行われ、106人の消防団員が誕生しました。

荒木団長は「自らの郷土は自らで守るという使命で訓練に励み、地域の第一線として活躍されることを期待します」と訓示しました。



荒木団長から新入団員に辞令が交付されました



団長 荒木新勝

玉祥寺出身。昭和60年に入団後、第9分団長、菊池方面隊長などを歴任。



副団長 緒方一敏

菊池方面隊長



副団長 古庄英樹

七城方面隊長



副団長 坂本 翼

旭志方面隊長



副団長 高木正直

泗水方面隊長



副団長 信岡富登志

菊池方面副隊長



副団長 永田智久

菊池方面副隊長



副団長 赤星和彦

七城方面副隊長



副団長 永田数幸

旭志方面副隊長



副団長 内田英樹

泗水方面副隊長

## ▼各分団

分団	分団長	団員数	区 域
第1分団	坂本巨人	146	上町、中町、下町、切明、迎町、中央通、横町、立町、正院町、栄町、東、西正観寺、巨、築地、高野瀬、北原、立石、片角
第2分団	神岡敬真	76	松島、神鶴、柿木平、日向、中原、藤田、上、下木庭
第3分団	佐野木成俊	103	鍋倉、佐野、原細永、日生野、伊牟田、永山、伊野、杉生、木護、柏、戸城、鉾之甲、下組、長六、塚原、岩平
第4分団	佐藤英博	71	雪野、寺小野、染土、龍門1、小木、鳳来、穴川
第5分団	中村公俊	100	東迫間、西迫間、市野瀬、中野瀬、七坪、太田、戸豊水、大柿、平野、茂藤里、篠倉、伊倉、道園、金峰、生味、立門、木佐木、滝黒仁田、古川
第6分団	原田真琴	120	辻、上西寺、中西寺、南古閑、北古閑、下西寺、神来、野間口、東原、深川、大琳寺、北宮、大塚、村田、上長田、下長田
第7分団	藤崎博文	123	上出田、下出田、広瀬、植古閑、木柑子、花房台、今、甲森北、乙森北、上古閑、上赤星、下赤星
第8分団	秋岡秀一	79	山崎、上水次、下水次、岡田、流川、辺田、荒牧、台、瀬戸口、高田
第9分団	佐々和宣	112	甲佐町、新古閑、清水、宮園、菰入、間所、戸田島、田中、本村、加恵、五海、西郷、羽根木、蟹穴
第10分団	前田晃宏	79	岩瀬、前川、板井、梶迫、林原、元村、内島、打越、新村、小野崎、大尺、松島、上橋田、下橋田
第11分団	齋藤 誉	144	津留、小原、高柳、湯舟、北桜ケ水、南桜ケ水、平、小川、姫井、楠原、九ノ峰、岩本、伊萩
第12分団	郷 大介	107	妻越、大迫、高永、伊坂、川上、川下、出分、あさひが丘、川辺南団地、片川瀬、尾足
第13分団	松本堅志	101	薬師、上高江、竹の下、福本二、福本一、田吹、富出分、田中、富、朝日団地、村吉、富の原中央、富の原台、富の原東、富の原北、富の原一、富の原西
第14分団	山本英治	93	永出分、桜山一〜九、富納、永、永南、南住吉、上住吉、北住吉、飛熊
第15分団	久川裕徳	93	久米一、久米二、三万田、高江、高江出分、田島一、田島二、猪の目、岡、平野、井戸方、佐野、糠泉
本部機動隊・女性消防隊		75	市内全域
計		1,622	



1. 勢いよくスタートした選手たち 2. 沿道に並び観客 3. ユニークな衣装で出場するランナーもいた 4. 家族で完走！ 5. BRSのステージでダンスを披露する子どもたち 6. ロックバンドのライブ 7. 遊覧飛行もあった

コース	部 門	氏 名	記 録
ハーフ	男子 (40才未満)	三輪翔太郎	1時間10分26秒
	男子 (40歳以上)	池島篤史	1時間12分22秒
	女子の部	井上一美	1時間28分55秒
10km	男子 (40才未満)	川原幸治	33分19秒
	男子 (40歳以上)	田中正章	33分56秒
	女子の部	山賀 操	40分38秒
5km	男子 (40才未満)	森本幸司	15分51秒
	男子 (40歳以上)	宮崎祐行	16分40秒
	女子 (40歳未満)	松下美香	19分44秒
	女子 (40歳以上)	仲尾須賀子	19分56秒
	中学生男子	上島航平	16分39秒
	中学生女子	森 磨皓	18分19秒
3km	男子 (60歳以上)	浜崎明彦	11分18秒
	女子 (60歳以上)	堤 美智子	15分28秒
	小学生男子1年〜3年	浦川菜伍	12分33秒
	小学生男子4年〜6年	川下 歩	11分42秒
	小学生女子1年〜3年	大島摩莉奈	14分31秒
小学生女子4年〜6年	古澤白菜向	12分08秒	

▲各部門の優勝者 (敬称略)

# 豊かな自然と食を満喫 第59回 熊日菊池桜マラソン大会



約2800人が市内を快走

第59回熊日菊池桜マラソン大会は4月6日、菊池市民広場をメイン会場に開催され、過去最多となる約2800人が出場しました。大会はハーフ・10km・5km・3kmの4コース、18部門で実施。菊池地域振興局前をスタートし、各中継地点を折り返して菊池市民広場前のゴールを目指しました。

沿道にはたくさんの方の観客が並び、風を切りながら走り抜けるランナーに拍手と声援を送られていました。選手の中には手作りの衣装や被り物をして走る人もいて、手を振ったり記念撮影をしたりしながら観客と一緒に大会を楽しんでいました。

## 食べ物と音楽でもてなし

ゴール会場では、飲食店やフリーマーケットが軒を連ねる「なんでもよかもん市」を同時開催。各店に行列ができるほどの大盛況で、来場者は菊池の特産品や絶品料理に舌鼓を打ちながら買い物を楽しんでいました。特設ステージでは音楽の祭典「BRS(ビューティフルロックショー)」もあり、ロックバンドとフォークユニットが心地よい音を会場に響かせていました。